

第131回役員会 議事要録

日 時：2022年1月26日(水)10:00～11:00

会 場：Teams によるオンライン会議

出席者：津田理事長、松尾副理事長、白川理事、古川理事、柳井理事、龍理事、中本理事
(オブザーバー) 中野監事、福田監事、二宮副学長、中尾副学長

報 告

- 1 2021年度公的研究費内部監査結果について
- 2 クイーンズランド大学との交換留学協定の廃止及び2021年度の本学の留学状況について
- 3 教員の再任について
- 4 プロパー職員の採用試験の結果について
- 5 環境技術研究所の取り組みについて

報告1 2021年度公的研究費内部監査結果について

<質疑応答>

[監事]

○ この公的研究費内部監査については、事前に監事にも報告いただいていた。実地監査の中でセキュリティシールや管理シールが貼られていないものがあったということについては、大容量 USB メモリなどの小さな物品に物理的にシールが貼れないというものであり、これについては要領自体がなかったなので、要領の検討をお願いしている。

教員に対する調査委員会の立ち上げについては、これも事前に監事に報告いただいております、監事と情報を共有しながら委員会の立ち上げを進めているところである。

[議長]

○ 調査委員会の立ち上げについて、事実を把握できるきっかけとなったのは内部通報か。

[副学長]

○ 公益通報制度に基づく外部からの通報である。

[議長]

○ USB メモリを使用するのは早くやめること。セキュリティ上非常に問題がある。現在、民間企業で USB メモリを使用している企業は基本的にないと思われる。USB メモリの使用の廃止について検討をお願いします。

報告2 クイーンズランド大学との交換留学協定の廃止及び2021年度の本学の留学状況について

<質疑応答> なし

報告3 教員の再任について

<質疑応答> なし

報告4 プロパー職員の採用試験の結果について

<質疑応答>

[理事]

○ 事務職員の人事給与制度は、独立行政法人化後も北九州市の人事給与制度をそのまま持ってきているのか。当社は北九州市の第三セクターであり、北九州市の人事給与制度をそのまま持ってきているが、会社運営に不都合なところが多くあったため、変えるべきものは変えていつている状況である。北九州市の病院事業が独立行政法人化した際、北九州市の人事給与制度が病院の運営にそぐわないということで、人事給与制度を抜本的に変えて独立行政法人化した。本学の人事給与制度がどのようになっているのか、給与の水準は他大学と比べてどういう状況になっているのか、北九州市の人事給与制度を持ち込むことで不都合はないのか、教えてほしい。

[理事]

○ 給与制度は北九州市に準じている。独立行政法人化した直後のプロパー職員は数名であったが、現在は63名となっている。人件費は固定費であるので非常に重く、現在見直しを行っているところである。一方で、本学は学生数に対して事務職員が非常に少なく、学生数に対しての人件費は他大学と比べて少ないと思っている。既得権をなくすのは中々難しいが、今後能力主義を入れ、能力と意欲がある人がその分の給与をもらえるようにし、最終的には固定費をあまり伸ばさないようにするというところで検討を進めているところである。

[理事]

○ 独立行政法人化して自由度が高まっているので、大学の経営状況や運営状況に応じて柔軟にやるべきことをやった方が良いと考える。

報告5 環境技術研究所の取り組みについて

<質疑応答> なし